

# 第34回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会 毛筆の部・硬筆の部

## 実施要項

1. 行 事 名 第34回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会
2. 目 的 書写書道を通して青少年の健全な心身の育成と国民の豊かな心情を養い、併せて伝統文化の普及振興を図り、国際的発展に寄与する。
3. 主 催 公益財団法人 日本武道館
4. 後 援 文部科学省・中国大使館・全国都道府県教育長協議会・全日本書写書道教育研究会・全国都道府県立武道館協議会・日本PTA全国協議会・朝日新聞社・読売新聞社・毎日新聞社・日本経済新聞社・産業経済新聞社・東京新聞・日本放送協会・日本テレビ・フジテレビ・テレビ朝日・テレビ東京 (以上申請中)
5. 大会役員 (敬称略/予定)
  - 大会会長 高村 正彦
  - 大会副会長 白井日出男
  - 大会顧問 江渡 聡徳 ・ 川端 達夫 ・ 河村 建夫 ・ 塩谷 立 ・ 中山 成彬  
森 英介 ・ 高橋 道和
  - 大会委員長 三藤 芳生
  - 大会副委員長 吉川 英夫
  - 審査顧問 飯高 和子 ・ 石橋 鯉城 ・ 井上 一郎 ・ 井上 豊 ・ 内村 嘉秀  
梅原 清山 ・ 加藤 達成 ・ 加藤 東陽 ・ 小森 茂 ・ 清水 透石  
武内 紫峰 ・ 田中 孝一 ・ 辻 春葉 ・ 中野 北溟 ・ 長野 竹軒  
氷田 清風 ・ 日比野光鳳 ・ 平形 精逸 ・ 広中 杏南 ・ 福島 林邨  
古谷 蒼韻 ・ 宮澤 鷺州 ・ 柳下 昭夫 ・ 渡辺富美雄 (五十音順)
  - 審査委員長 三藤 芳生
  - 審査副委員長 吉川 英夫 ・ 加藤 東陽 ・ 三好 秀明
  - 審査委員 青山 浩之 ・ 浅井 幸夫 ・ 飯田 瑤香 ・ 飯高 幸子 ・ 石井 昭正  
石坂 雅彦 ・ 伊藤 興秋 ・ 井上 始源 ・ 岩永 栖邨 ・ 江崎 美里  
丘山 憲一 ・ 小野寺聿源 ・ 恩田 道子 ・ 加藤 倭子 ・ 金子 春洋  
北嶋 悠 ・ 熊坂 尚史 ・ 倉田 政子 ・ 見城 正訓 ・ 小泉 笙子  
小林 妙子 ・ 小松 錦柳 ・ 西城 研 ・ 佐々木裕紀子 ・ 清水 文博  
杉崎 光波 ・ 鈴木 昭和 ・ 鈴木 和枝 ・ 鈴木 漢舟 ・ 高城 竹苞  
鷹啄 知美 ・ 高橋 英明 ・ 滝口 雅弘 ・ 田中 香 ・ 種谷 萬城  
仲本 蘭秀 ・ 西野 光文 ・ 西室多恵子 ・ 樋口 咲子 ・ 幕田 魁心  
松浦 通子 ・ 松田 久枝 ・ 松本 雙鶴 ・ 松本 貴子 ・ 見方 弘子  
森 高雲 ・ 森口智嘉子 ・ 矢口 三郎 ・ 安塚 旭洞 ・ 山口志げ子  
山口 真澄 ・ 山口 礼子 ・ 山野 雅行 ・ 横倉 佳男 ・ 横田 貫厚  
米本 美雪 ・ 渡邊 美穂 (五十音順)

## 6. 展覧会及び授賞式

日 時 平成 30 年 8 月 26 日 (日) 展覧会 午前 10 時から午後 4 時まで  
授賞式 午後 1 時から

会 場 ホテルグランドパレス (東京都千代田区飯田橋 1-1-1) TEL 03-3264-1111  
【最寄駅】地下鉄『九段下駅』 東西線 7 番口 (富士見口)より徒歩 1 分  
半蔵門線・都営新宿線 3a 番口より徒歩 3 分  
※授賞式・展覧会の対象となるのは、高円宮賞から日本武道館奨励賞までです。

7. 出品規定 裏面記載のとおり。

8. 出品手続き 裏面記載のとおり。

9. 審査 (1)書写書道界の権威者によって構成された審査委員会において厳正公平に審査します。  
(2)実施要項(出品目録記載事項を含む)の規定に違反した作品は、審査の対象としないことがあるのでご注意ください。  
(3)審査結果は、7月中旬に郵送をもって通知します。

10. 表彰 (1)個人賞 (予定)  
高円宮賞、内閣総理大臣賞、日本武道館大賞、衆議院議長賞、参議院議長賞、文部科学大臣賞、日本武道館会長賞、日本武道館理事長賞、後援団体賞(17 団体)、審査委員長奨励賞、日本武道館奨励賞、日本武道館賞、大会奨励賞 (以上に楯と賞状)、特選、金賞、銀賞、銅賞 (以上に賞状のみ)のいずれかの賞を全員に授与します。

(2)団体賞 (予定)  
全国優秀団体賞、全国優良団体賞を出品数及び成績を考慮して選びます。

11. その他 (1)出品されたすべての作品について、後日、表装等申込みを受け付けます(有料)。なお、表装等申込みのない方は、個人賞を含めて作品の返却はいたしませんのでご了承ください。  
(2)受賞者名簿(有料)には、高円宮賞から日本武道館奨励賞までの作品を写真版(予定)で、日本武道館賞及び大会奨励賞は氏名(予定)をそれぞれ掲載いたします。  
(3)上位入賞者については、当財団ホームページ及び月刊「書写書道」誌上にて掲載予定です。

12. 問合せ先 公益財団法人 日本武道館 書道展事務局  
TEL 03-3216-5144 (午前 9 時 30 分～午後 5 時)  
FAX 03-3216-5156 (24 時間受信可能)  
(裏面に出品規定と出品手続きを記載していますので、必ずご一読ください。)

## 出品規定

	毛筆の部	硬筆の部
参加資格	1部 幼児及び小学校児童 2部 中学校生徒 3部 高等学校生徒 4部 大学生 5部 一般	1部 幼児及び小学校児童 2部 中学校生徒 3部 高等学校生徒 4部 大学生 5部 一般
語句	自由です。 ただし、1部・2部は学年別配当漢字に準拠してください。 ※著作権の関係で、3部・4部・5部は、出品票の裏に作品語句（コピー可）・出典名・作者名を明記してください。	<u>指定された課題語句を使用してください（課題は別紙に記載）。</u>
書体	1部は楷書、2部は楷書または行書、3部・4部・5部は自由とします。	1部は楷書、2部は楷書または行書、3部・4部・5部は自由とします。
署名	1部（幼児）は氏名（名だけでも可）、1部（小学校児童）と2部は学年と氏名を署名してください。 ※学年は、(例)小六、中三 とし、(例)六年、三年 としないでください。  3部・4部・5部は作品に応じた署名をしてください。雅印のみは不可です。 ただし、臨書作品は署名の後に「臨」と書いてください。	1部（幼児）は氏名（名だけでも可）、1部（小学校児童）と2部は学年と氏名を学年・氏名欄に記入してください。 ※学年は別紙の指定課題に、記載のとおりを書いてください。  3部・4部・5部は作品に応じた署名（〇〇書、または、〇〇かく）を枠内にしてください。雅印のみは不可です。
出品点数	1人5点まで出品できます。	1人同一課題5点まで出品できます。 5部（一般の部）は、一課題につき5点、合計15点（3課題）までの出品が可能です。
用紙	白色の半紙（タテ約33cm、ヨコ約24cm）を縦長使用とします。	日本武道館指定の硬筆規定用紙を縦長使用とします。硬筆規定用紙以外の出品は審査されません。 出品用の硬筆規定用紙は、日本武道館で販売しています。 申込は別紙の申込書をご利用ください（1部150円、50枚綴り）。
用具	毛筆用具を使用してください。 水溶性墨液（洗濯できる墨液など）を使用した作品は、表装する際、文字のにじみや消えてしまうことが考えられますので、あらかじめご了承ください。	1部は鉛筆のみ、2部は鉛筆またはペンを使用し、3部・4部・5部は自由とします。 ※フリクションインキ等、消せるインクの使用は不可です。

出品手続き 毛筆の部・硬筆の部ともに以下の要領で出品してください。

	毛筆の部	硬筆の部
出品料	1部・2部・3部は、1点につき500円 4部・5部は、1点につき1,000円	1部・2部・3部は、1点につき320円 4部・5部は、1点につき540円
出品料	<p>※賞品送料等に経費がかかりますので、出品料の合計金額が700円以下の場合であっても、出品料は700円とさせていただきます。なお、毛筆の部と硬筆の部の出品料の合算はできません。</p> <p>※50点以上出品される場合には、1割の出品料割引と受賞者名簿1部贈呈の特典があります。出品料計から10%を差し引いた金額をお振込みください。なお、毛筆の部と硬筆の部の出品数の合算はできません。</p>	
申込手順	<p>① 出品票に必要事項を記入の上、出品するすべての作品右下に貼付してください。          ※1人で複数の作品を出品する場合、作品をひとまとめにして、出品票部分をクリップでとめてください。その際、出品票の作品番号は、同一作品番号とし、序列順に1の1、1の2のように枝番号を記入してください。          ※毛筆の部 3部・4部・5部については、出品票裏面に作品語句（コピー可）、出典名、作者名を明記してください。</p> <p>② 毛筆の部は白色の出品目録に、硬筆の部は水色の出品目録に必要事項を記入の上、出品料を計算してください。          ※初めて出品する団体、また個人の方は、出品票と目録への登録番号の記入は不要です。          ※出品票と出品目録の入力フォーム（エクセル）を当財団ホームページ上で公開しておりますので、ダウンロードしてご使用いただくことも可能です。  <a href="http://www.nipponbudokan.or.jp/shodou/">http://www.nipponbudokan.or.jp/shodou/</a></p> <p>③ 同封の毛筆の部・硬筆の部郵便振替用紙にて送金してください。なお、一度納入された出品料は返金いたしませんのでご了承ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>振替用紙がお手元がない方は、郵便局に備え付けの振替用紙を使用し、窓口またはATMから下記口座にお振込みください。その際、振替用紙の通信欄には、(ア)『高円宮杯毛筆の部』もしくは『高円宮杯硬筆の部』、(イ)入金内訳（例：小学校〇点 〇〇〇円、中学校〇点 〇〇〇円 合計〇〇〇〇円など）を必ず記入してください。また、依頼人氏名は、目録右下記入の責任者氏名と同一人をお願いします。</p> <p>（送金先）口座番号：00110-6-358611 加入者名：公益財団法人日本武道館 書道展</p> </div> <p>④ 郵便振替受領証（コピー可）を、出品目録右上に貼付してください。</p> <p>⑤ 出品票を貼付した作品と受領証を貼付した出品目録を日本武道館へ  <u>平成30年6月12日（火）必着</u>でご送付ください。</p> <p>（送付先）〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2番3号          公益財団法人 日本武道館 書道展事務局 宛</p> <p>※発送の際、封筒などの表に『第34回展公募作品在中』と明記してください。</p>	

# 第34回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会

## 硬筆の部 指定課題

小四 氏名	小三 氏名	小一 氏名	小一 氏名	幼児 氏名
終わらせたい。 に夏休みの宿題を 今年こそは早め	見とれた。 ホタルの美しさに 夜空にとびかう	大きいな。 海は広いな	すんだそう たいよう	ひかり ほし
中二 氏名 中二(楷・行書 改行適宜) 選手の入場行進に歓声が 起こり、場内が一体となっ たのを感じた。	中一 氏名 中二(楷・行書 改行適宜) ヘリコプターは、災害の 救助活動に大きな役割を 果たしている。	小六 氏名 小六(改行適宜) 物事の順序を考えて、 行動することの大切さ を学びました。	小五 氏名 小五 山小屋の朝は気 持ちよく、空気も 食事もおいしい。	
高・大・一般 (書体自由・行書き・改行適宜) 毛筆で書かれた文字は、 筆跡が鑑賞の対象になる 書道という芸術を生み 出した。 ※○○○	※読み(来る)きたる、天(あま) 持統天皇「万葉集」より 春過ぎて 夏来るらし白たへの 衣干したり天の香具山 ※○○○	高・大・一般 (書体自由・四行書き・配置自由) 実をとりて胸にあつれば 新なり流離の憂 海の日の沈むを見れば 激り落つ異郷の涙 ※○○○ ※読み(新)あらた、憂(うれ)ひ、激(た)ぎり 島崎藤村「椰子の実」より	中三 氏名 中三(楷・行書 改行適宜) 兼好法師の「徒然草」を 読むと、人生について多く の教訓が得られる。	

※高・大・一般(3部・4部・5部)は作品に応じた署名(〇〇書、または、〇〇かく)を枠内にしてください。雅印のみは不可です。

キリトリセン

### 高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会 硬筆規定用紙申込書

※同封の郵便振替用紙(通信欄無地の用紙)、もしくは、振替用紙がお手元ない方は、郵便局に備え付けの振替用紙を使用し、窓口またはATMから下記口座にお振込ください。

※振替用紙の通信欄には、(ア)『高円宮杯硬筆用紙』、(イ)『入金内訳(例:硬筆用紙 @150×〇〇部+送料〇〇〇円=〇〇〇〇円)』を必ず記入してください。

(送金先)口座番号: 00110-6-358611 加入者名: 公益財団法人日本武道館 書道展

※初めて出品される団体(または個人の方)は、登録番号の記入は不要です。

申込日 平成 年 月 日

登録番号	団体名	住所
ふりがな 氏名	Ⓜ	電話番号 ( )

(1) 幼・小1、2年生用	@150円×	部	=	円	規定用紙送料 (イ)1部 280円 (ロ)2部以上 380円 総合計金額
(2) 小3、4、5年生用	@150円×	部	=	円	
(3) 小6、中学生用	@150円×	部	=	円	
(4) 高・大・一般用	@150円×	部	=	円	
合計		部	=	円	円

◎各用紙とも1部につき50枚綴りです。

※郵便振替用紙のコピーをここに貼付してください。  
のりしろ